

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	青 森
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	柏 村 立 柏 小 学 校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	18
児童数	59	48	52	52	49	50	1	311	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力を身につけさせるための指導法についての研究」 ～算数科における個に応じた指導を通して～
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全学年・算数 * 学力検査の結果から、算数科の「関心・意欲・態度」「数学的な考え方」に課題が残ったため。
--

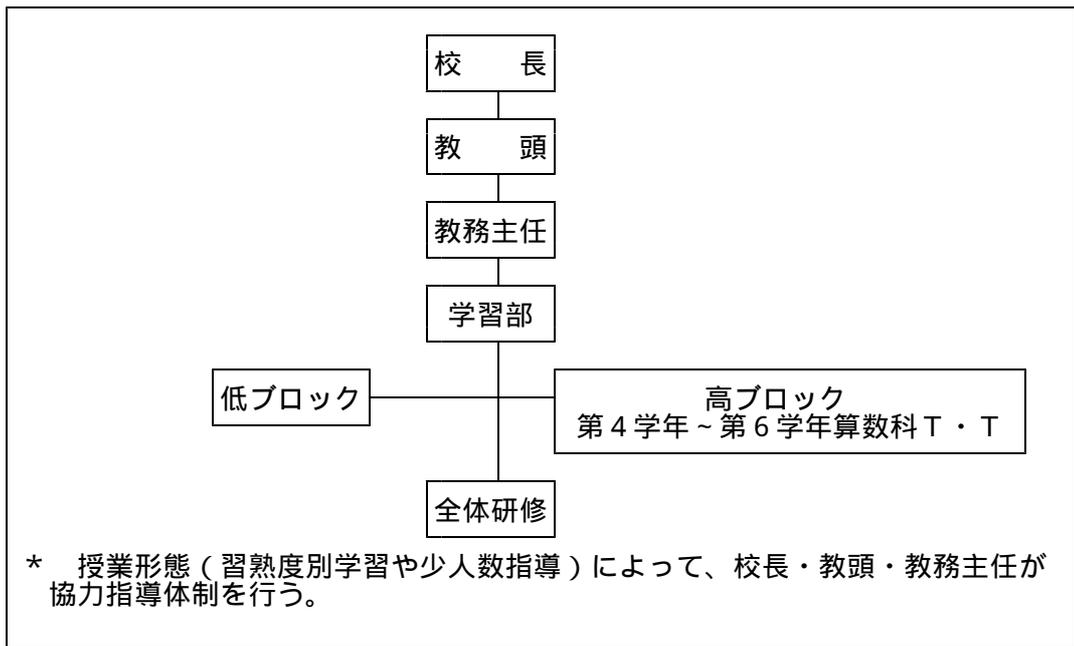
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけさせるための指導法についての研究 ～算数科における個に応じた指導を通して～</p> <p>研究の見通し 算数科において、指導体制を工夫するとともに、学習の振り返りを生かすなど、個に応じたきめ細かな指導をすることによって、確かな学力が身につくことになる。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>内容 ア 個別指導の必要な児童に対する指導体制について イ 学力の評価の活用について ウ 個に応じた効果的な指導について</p> <p>方法 ア 低・高の2ブロックに分かれて、研究を進める。 イ 各学年1回、全体研究で提案授業をする。 ウ 計画訪問は事前研を設定し、その他の提案の事前研はブロックで行う。</p>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけさせるための指導法についての研究 ～算数科における個に応じた指導を通して～</p> <p>研究の見通し 算数科において、指導体制を工夫するとともに、学習の振り返りを生かすなど、個に応じたきめ細かな指導をすることによって、確かな学力が身につくことになる。</p> <p>研究の内容・方法</p>
--------	---

内容
ア 指導方法や指導体制の充実について
イ 評価の計画的なあり方について (学習評価の活用や学習の振り返りの仕方など)
方法
ア 低・中・高の3ブロックに分かれて、研究を進める。
イ 各学年1回、全体研究で提案授業をする。
ウ 計画訪問は事前研を設定し、その他の提案の事前研はブロックで行う。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

* 本校は、15年度から指定を受け研究を進めるにあたって、今年度の反省をもとに課題発見も成果の一つととらえ、まとめた。

(1) 個別指導の必要な児童に対する指導体制について

平成15年9月上旬に実施した「学習に対する意識調査」の結果から、
(4年26人・5年47人実施、回答%)

設問・対象	回答	回答割合			
		よくあてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	まったくあてはまらない
勉強内容がよくわかる	4年	30.8	69.2	0	0
	5年	48.9	42.6	8.5	0
	全体	42.5	52.1	5.4	0
わからないことなど先生に聞きやすい	4年	15.4	50.0	26.9	7.7
	5年	34.0	44.7	19.1	2.1
	全体	27.4	46.6	21.9	4.1
二人以上の先生に教えてもらえることでその教科が好きになってきている	4年	34.6	23.1	34.6	7.7
	5年	36.2	51.1	12.7	0
	全体	35.6	41.1	20.5	2.8

4月からT・Tによる個別指導の結果、T・Tを活用した指導体制が有効

に働いていると考える。

また、今年度の反省から、T・Tによる指導体制をすることで、より児童に目が届くようになり、個別指導をする機会が増えたという意見があった。

(2) 学力の評価の活用について

学力検査(NRT)の活用から

前年度同じ学力検査を実施していないが、本校児童の学力の状況を把握し、指導に役立てる資料とした。

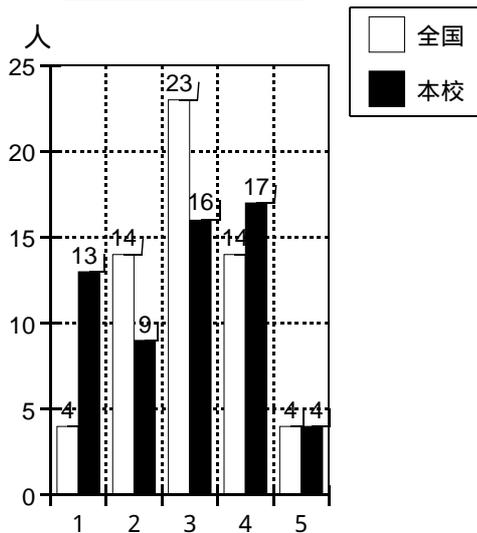
ア T・Tの活用に生かすことができないか。

偏差値平均(M)...「50」を全国平均と考えてよい。

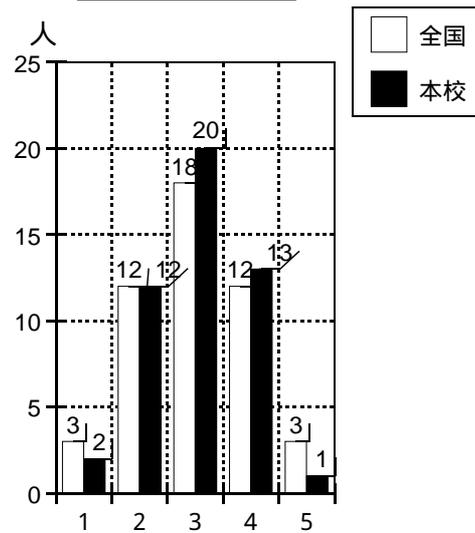
学年	偏差値(国語)	偏差値(算数)	学年	偏差値(国語)	偏差値(算数)
1	48.3	47.2	4	48.9	45.9
2	52.9	50.0	5	58.1	54.5
3	52.0	50.1	6	51.9	51.6

イ 「標準得点(学力偏差値)」...どの段階の子に対する指導を工夫しなければならないか。

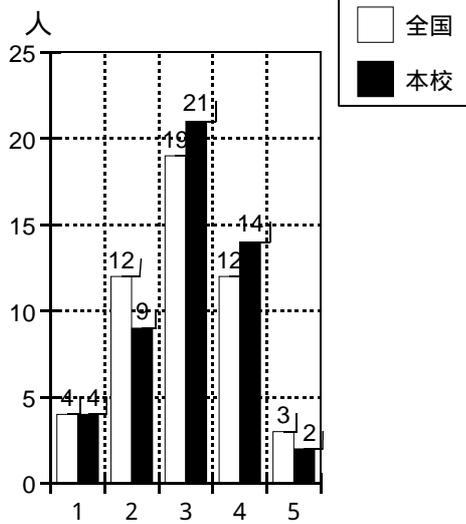
1年生算数



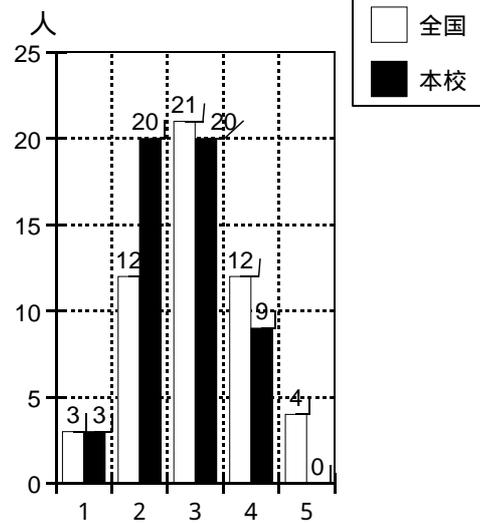
2年生算数



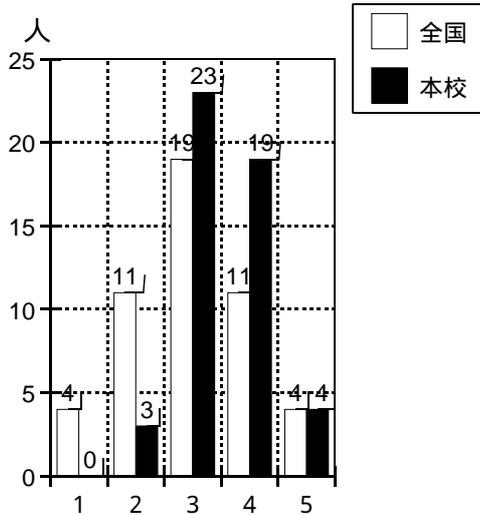
3年生算数



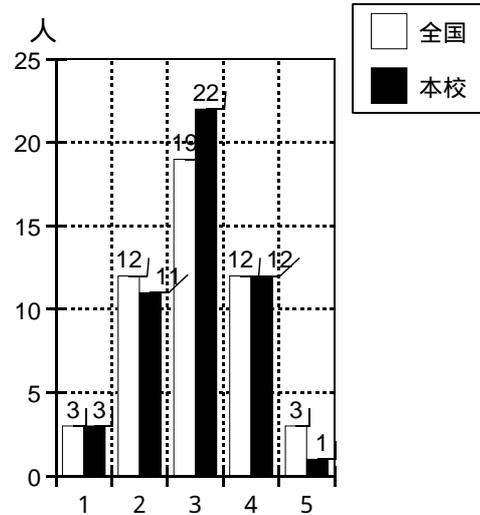
4年生算数



5年生算数



6年生算数



上記の結果から、1の段階や2の段階の子に対する指導の工夫が必要とわかった。

ウ どの領域で指導の工夫が必要か。

「大領域別集計」...「100」を全国の正答率とする。

学年	算 数		学年	算 数	
1	数と計算	9 1	4	数と計算	8 8
	量と測定	9 9		量と測定	8 3
	図形	1 0 1		図形	1 0 1
	数量関係		数量関係	8 1	
	数と計算	9 8		数と計算	1 2 7

2	量と測定 図形	98 107	5	量と測定 図形 数量関係	112 126 95
3	数と計算 量と測定 図形 数量関係	107 100 84 105	6	数と計算 量と測定 図形 数量関係	107 95 108 105

上記の結果をもとに、各学年で領域を重点とした指導法の工夫を考
えるようにする。

エ 知能と学力の相関から、個に応じた指導を要する児童はいないか。

学年	平均学力偏差値	知能偏差値	アンダー	バランスド	オーバー
1
2	51.6	53.4	5人	37人	6人
3	51.0	52.4	9	35	6
4	49.3	48.9	3	46	3
5	57.7	50.7	0	26	23
6	50.7	51.5	2	44	3

上記の結果、アンダーアチーバーの児童に応じた指導に配慮する必
要がある。

学習の振り返りを生かした指導

第6学年からの提案

(振り返りカードを使うことによって意欲づけになるだろう)
「振り返りについての意識調査」から、

ア 振り返りカードは、頑張ってみようという気持ちになったか。

すごくなった・・・24%
ややなった・・・39
あまりならない・・・27
全然ならない・・・10

イ 振り返りカードでよいと思う点

先生のコメントがうれしい・・・22%
きちんとできたか確かめられる・・・18
自分を評価できる・・・14
やる気がでる・・・10
その他少数意見・・・36
(苦手なところがわかったなど)

ウ 振り返りカードでこうしたらいいと思う点

感想を書けるところがあるといい・・・16%
アドバイスがほしい・・・16
頑張ったところを書くところ・・・6
その他少数意見・・・62

上記の結果から、・・・での評価であったが、学習への意欲づけ
となったと考える。

(3) 個に応じた効果的な指導について
習熟度別学習や少人数指導など提案されたが、反省で上位グループの児童にとって学習意欲も高まり、多様な意見が出るなど有効と考える。
しかし、下位グループやわからないで困っている児童にとって、習熟度別学習や少人数指導は有効になっていないとわかった。

2. 今後の課題

(1) 指導体制や指導方法の充実について

指導体制では、学力検査の結果を生かした協力的指導体制やT・Tの活用を考える必要がある。

そのため、学年の実態や1・2の段階の児童、学習領域に配慮したT・Tの活用を考える。また、ねらいをしっかりとって習熟度別学習や少人数指導など協力的指導体制の充実を図る。

指導方法でも、学力検査の結果を生かし、学年の実態や1・2の段階の児童、学習領域やアンダーアチーバーの児童に配慮した学習指導が必要と考える。今年度は、個別指導をする時間が少なかったという反省から、個別指導に対する工夫をする。

そこで、習熟度別学習や少人数指導のよいところもあったが、より一人ひとりを生かす学び合い・高め合う授業を目指す。また、単元によっては、習熟度別学習や少人数指導などの良さも取り入れた指導を工夫する。

さらに、個別指導は、授業の中での個別指導、時間を設定しての個別指導を考慮する。

(2) 評価の計画的なあり方について（学習評価や学習の振り返りの仕方など）

学力検査の結果を生かした指導体制や指導方法の取組がなされなかったことから、来年度も今年度と同じ時期にNRTを実施し、比較することでより一層の指導体制や指導方法の充実を図る。

学習の振り返りカードは、学習意欲を高めることに有効であったが、感想や頑張ったところ・アドバイスなどほしいという意見を考慮し、各学年の発達段階を考慮し、文章で書くことを基本とする。

学力等把握のための学校としての取組

* 学力調査のため、全学年平成15年12月にNRTテストを実施。
(第1学年から第2学年は、国語・算数で実施)
(第3学年から第6学年は、国語・社会・算数・理科で実施)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

(1) 15年度

- 6月4日 柏村小・中連絡協議会（柏村立柏中学校）において、村内教員を対象に今年度の取組を紹介。
- 10月30日 柏村小・中連絡協議会（柏村立柏小学校）において、村内教員を対象にこれまでの取組を紹介。
- 10月31日 西郡小学校長会学校運営研究協議会（森田村立中央公民館）において、小学校長を対象に取組を紹介。
- 12月 3日 参観日（柏村立柏小学校）において、保護者を対象に授業実践から取組を紹介。

(2) 16年度

- 日時未定 柏村小・中連絡協議会（柏村立柏中学校）において、村内教員を対象に取組を紹介。
- 11月ころ 学力向上フロンティア事業公開予定。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無